ロシアによるウクライナ侵略の状況

（2026年7月13日時点）

➢ **露軍**は、**ウクライナ東部・南部地域**での攻勢やウクライナ全土に対する**ミサイル・無人機攻撃**を継続。また、ウクライナ軍も無人機等による**露領内及び露占領地域への攻撃**を強めている模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況
露軍：**死傷者約141.4万人**（「ウ」軍参謀本部26年7月8日）
：**死者45万人、死傷者約140万人**（CSIS26年7月1日）
：**死者50万人近く**（英GCHQ26年5月28日）
「ウ」軍：**死者約12.5～15万人、死傷者52.5～62.5万人**（CSIS26年7月1日）
「ウ」市民：**死者1万6,126人、負傷者4万6,590人**（UN26年5月12日）

- 露軍参謀総長は7月3日、**露軍がドネツク州コスチャンチニウカを制圧**したとプーチンに報告するも、ゼレンスキー大統領はこれを否定し、**同市が「ウ」軍の管理下にある**と発言した。
- 「ウ」戦況分析グループ「DeepState」は、**前述のドネツク州コスチャンチニウカは「ウ」軍の管理下にある**と指摘（7月6日）。
- 「ウ」総司令官は、26年前半における**ロシアの攻勢速度**が、**これまでと比較し半減**したと発言（7月10日）
- CSISは、26年上半期における**ロシアの月間平均死傷者数は3万以上**であり、兵士の月間平均補充数2万7千（推定）を上回ると指摘。CSISはまた、26年上半期における**ロシアとウクライナの死傷者の比率は8対1**と発表（7月1日）

- トルコで開催されたNATO首脳会議において、NATO加盟国は、「ウ」に対する揺るぎない支援を再確認し、**今年は700億ユーロ（約13兆円）規模の支援を実施**し、**来年も同等以上の支援**をすることで合意した（7月8日）。
- **トランプ大統領**は、NATO首脳会議のため訪問中のトルコでゼレンスキー大統領と会談し、**防空システム「ペトリオット」ミサイルの製造ライセンスを「ウ」に付与する**と発言（7月8日）。
- ゼレンスキー大統領は、「ペトリオット」ミサイルの生産ライセンスと生産実績を持つ、**日本の三菱重工業との協力に関心がある**と発言（7月10日）。

- 「ウ」空軍は、露が7月2日に、**弾道ミサイル×24発**を含むミサイル×74発と**無人機×496機**で、6日には**弾道ミサイル×23発**を含むミサイル×68発と無人機×351機でキーウを攻撃したと発表。2日の攻撃では少なくとも**27人が死亡、90人以上が負傷**、6日の攻撃で少なくとも**26人が死亡、119人が負傷**。
- 「ウ」空軍は、2日の攻撃では**弾道ミサイル24発中4発を撃墜**したが、6日の攻撃では**弾道ミサイルを一発も撃墜できなかった**と発表。
- ゼレンスキー大統領は、**ロシア領内及びウクライナのロシア占領地域**への攻撃を指揮する**「長距離攻撃司令部」を創設**すると発表（7月10日）
- 「ウ」総司令官は、「ウ」は26年前半に、ロシア領内の**697箇所**のターゲットに長距離攻撃を実施し、**61億ドルの経済損失**を与えたと発表（7月10日）。

- 主要都市（下線は州都）
- 露軍による攻撃が報じられた主な地点（接触線以外）
- 露軍が占領した地点
- 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ウクライナ軍が占領した地域

国土地理院標準地図を加工

資料源：ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等